

事前意見の対応等について

整理 番号	委 員 意 見	対 応 等
1	(P. 7) 就労支援の窓口、相談支援センター、その他の支える仕組みを一覧としたリーフレットの作成と必ず患者、家族が訪れる窓口（外来受付、入院受付、支払窓口、薬局窓口）での配布。（吉田委員） (P. 7) 産業医、保健師の業務（就労支援に関してできること）を患者、家族向けに広報する仕組み。（吉田委員）	P. 9 に反映。
2	(P. 9) 啓発チラシ、マニュアルの提供に関して、市中の調剤薬局を配布対象にしてはどうか。コンビニよりも数が多いといわれており、がん治療が通院中心となってゆく今後、患者との接点が多くなると予想される（松田委員）	
3	(P. 9) 就労支援に関する相談窓口一覧のリーフレット作成 (希望) 熊本県のがん相談支援センター、ハローワークを中心とする。に加え、リーフレット下部でもいいので、国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービスガイドの紹介も入れてほしい。がんの告知を受けた直後の受け入れ過程から就労支援、生活やお金に関する情報が詰められている。特に就労を希望する若い世代のがん患者は、出向くことの相談以前にネットで情報を取ることが多いと思われるのでぜひ入れてほしい。そのうえで身近な相談支援センターに出向き、行動を起こすことを期待したいので。（相藤委員）	
4	(P. 7) 患者、医療機関、職場（産業医）が情報を共有できる仕組みの作成。私のカルテの利用の可能性についての検討。（吉田委員） (P. 9) 就労支援シートの作成に関しては、熊本県のがん治療の現場で活用されている「私のカルテ」を利用してはどうか。既存のものを使用することで、時間、経費ともに削減することが期待できる。主治医による「私のカルテ」、産業医による「意見書」を基に「就業計画」（たたき台）を作成し、「治療の時期」に合わせて、「支援窓口」「支援ツール」などを紹介できる形式にする。「がん予防対策連携企業」の協力を得ることで、早期にモデル事業としてスタートできるのではないかと。（松田委員）	P. 10 に反映。 具体的な方法は、特に熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会、がん予防対策連携企業・団体等と連携して、新設のネットワーク会議の中で議論させていただきたいと思います。
5	(P. 9) 医療機関でがんと診断された患者、家族へ渡す書類へ「今すぐに仕事を辞める必要がない」と明記する。（吉田委員）	P. 7, 9 に反映。
6	(P. 9) 短期的に優先して実施・・・がん患者就労支援ネットワーク会議の設置・開催・・・就労支援シートなどの作成、活用等を図り、PDCAサイクルによる定期的な評価を行う。（相藤委員）	P. 9 に反映。
7	(P. 9) 医療機関の関係者と、就労関係者の情報共有、顔の見える関係づくりを目的とした定期的な会の開催（熊本緩和ケアカンファレンスで年1回取り上げる）（吉田委員）	P. 9 に反映。

整 理 番 号	委 員 意 見	対 応 等
8	中期目標で就労支援シートの作成があるが、その前に、企業関係者向けに受け入れる側の不安が少しでも軽減できるように講演会、相談会などはどうでしょうか。（安達委員）	P. 9 に反映。研修会、講演会等の実施の優先順位は要検討。
9	がん専門相談員が安心して相談に対応できるように、相談員が困った時に相談ができる場、もしくはどこにいつ相談したら良いのかなど明文化などの検討をお願いします。（安達委員）	P. 10 に反映。
10	（P. 9）中小企業に関しては、「名義貸し」状態になっている「嘱託産業医」の掘り起しを早急に行うべきと考える。（松田委員）	御意見を伺って検討。
11	（P. 10） 実施の可否を含めて検討すべき対策　がん患者の就労不安に対する相談支援センターと連携した24時間ホットラインの設置検討を加えてほしい（相藤委員）	御意見を伺って検討。
12	患者さん側へのアプローチは…。今回は受け入れる側の方の整備だけでしょうか。（安達委員）	P. 7 に反映。御意見を伺って検討。